

伊勢のお白石持

遷宮で結ぶ人の輪 心の輪
第六十二回神宮式年遷宮

編集発行・御遷宮対策委員会
伊勢市岩洲1-7-17(伊勢商工会議所内)
電話0596-25-5215



平成6年 月読宮お白石持奉献



3つの別宮で
お白石持行事も実施します。

月読宮
倭姫宮
月夜見宮

別宮の御遷宮

内宮、外宮に続き、今年度は別宮の御遷宮です。



平成6年 倭姫宮お白石持行事



平成6年 月夜見宮お白石持行事

昨年夏のお白石持行事からもうすぐ1年。伊勢市民にとっては20年に一度の晴れの民俗行事であり、猛暑のなか、心ひとつにする頑張り時でもありました。参加されたみなさんには、まだ記憶に新しいのではないでしょうか？そして内宮、外宮のお白石奉献は無事に遂行され、伝統をつなぎ、この時代の伊勢の歴史の一節として綴られることとなりました。

式年遷宮は、まだ完了ではなく、神宮の別宮、撰社・末社・所管社、全125社(別宮14、撰社末社・所管社109)すべてが御遷宮の対象であり、内宮外宮同様に、立柱祭、上棟祭などが行われ、社殿の完成後、遷御となります。なかでも今回ご紹介する3つの別宮は、伊勢のまちなかにあり地元にとっても、ごく身近で大切なお宮であり、ご縁のある奉献団によるお白石持行事が行われます。

別宮のお白石持 日程

- 月読宮** 平成26年9月28日(日)
●実施奉献団/四郷
- 倭姫宮** 平成26年11月30日(日)
●実施奉献団/二見連合、四郷、長峰連合、宇治・二軒茶屋、倭町(奉献順)
- 月夜見宮** 平成27年2月22日(日)
●実施奉献団/宮後

お白石持行事は500年以上継承されている伊勢の民俗行事です。実施へのご理解ご協力をお願い申し上げます。

【御遷宮対策委員会 関連事業 情報】

平成25年度 さつぽろ雪まつり伊勢ブース出展

2月5日(水)〜11日(火・祝)に開催された「さつぽろ雪まつり」。昨年度は、御遷宮年を奉祝して大雪像をはじめ、展示、ステージイベント等大規模に実施。北海道をはじめ、全国に伊勢や遷宮について知っていただく良い機会となりました。今年度は遷宮のご報告という意味も含め伊勢ブースを設置し「伊勢神話への旅」と題して宮澤正明写真展を行いました。



室内写真展示風景

札幌でも遷宮に関心

さつぽろ雪まつりの来場者数は240万2000人を数え、伊勢ブースには5万人を越える入場者がありました。伊勢としては出展5年目となるため「毎年、展示を見に来ている」等の声も多くきかれ札幌市民、観光者とも伊勢に対する関心が高く、伊勢への誘客に繋がる効果を感じられました。

お白石持行事・御遷宮の 写真展を開催します

入場無料

開催予定

7月23日(水)〜29日(火)
午前9時〜午後8時(29日は午後5時まで)

会場

いせシテイプラザ(外宮前) 1階・2階

1階ホール

宮澤正明 写真展 「伊勢神話への旅」

今回の御遷宮の集大成として制作された御遷宮対策委員会公式写真集の発刊を記念し、長期にわたり神宮を撮影されてきた宮澤正明氏の写真展を開催します。東京六本木ヒルズ、さつぽろ雪まつりでも、神宮の素晴らしさを伝え、多くの方を魅了した作品の数々。伊勢の皆さんにも改めて観ていただきたい写真展です。



六本木での写真展の様子(平成25年)

●宮澤正明氏プロフィール/1960年東京生まれ。日本大学芸術学部を卒業後、赤外写真作品「夢十夜」にて写真会のアカデミー賞ともいわれるニューヨークICP第一回新人賞を受賞。帰国後はファッション・広告等幅広い分野で撮影を行う。平成16年の神嘗祭の撮影をきっかけに伊勢神宮の取り下ろしを開始。第62回式年遷宮奉納写真家として9年間に及ぶ撮影作品を、写真集、映画など複数の媒体で発表。平成26年3月、御遷宮対策委員会 公式写真集「遷宮」発刊。

2階ホール

松原豊 写真展 お白石持行事 「伊勢の町衆」

「伊勢の町衆」

民俗行事の意義や神宮と生きる「誇り」を年長者が若い衆へ子どもへと伝え、次代へ繋いでいく伊勢のお白石持。行事の記録として撮った松原豊氏の写真から伊勢の町衆の勇姿や道中の様子等を厳選して展示。暑い夏の記憶が甦ります。ぜひ、足をお運びください。

●松原豊氏プロフィール/1967年三重県生まれ。津市美里町在住の写真家。第62回神宮式年遷宮では御遷宮対策委員会の記録撮影を担当。他、平成24年「村の記憶」写真展(ニッポン)。平成25年写真展「生きる」- Post-TUNAMI (日本写真家協会主催)参加。三重県の雑誌や広報誌などでも精力的に活動中。

